

植物の力で人々の生活を守る 法面緑化資材のリーディングカンパニー

植生マット、植生シート、植生土のうなど緑化資材の開発・製造・販売・施工を行うロンタイ株式会社。法面緑化面積国内No.1の実績をもとに、SDGs数値目標として、2022年から2030年までに緑化面積1億㎡を目指している。

全国各地に営業・製造拠点をもち、建材商社を中心に幅広い販売ネットワークを構築しており、近年は多様化する顧客のニーズに応えるべく新製品の開発にもより力を注いでいく方針だ。創業以来、「早期緑化」「自然回帰」を基本理念として、多発する自然災害から人々の暮らしを守るための事業を展開している。

住 所 | 〒570-0011 大阪府守口市金田町3-1-11
TEL | 06-6902-9401 FAX | 06-6905-9070
創 業 | 昭和32年11月 設 立 | 昭和32年11月
資本金 | 6,300万円 従業員 | 120名
H P | <https://www.rontai.co.jp/>

■主な事業内容

植生マット、植生シート、植生土のうなどの緑化資材の開発、製造、販売、施工

■主な取引先（納品先）

官公庁、ゼネコン、代理店



WEBサイト



ロンタイ株式会社



代表取締役

中川 太郎さん

防災や災害復旧などの社会課題を 皆で考え共有して解決に取り組む

植物の力で人々の生活を守る。この理念の下、生態系の創生、防災、災害復旧の分野で社会課題の解決に取り組んでいます。私たちが大切にしているのは、「いい人材づくり」「いい関係づくり」「いい製品づくり」の3つ。ですから当社では、自ら考え行動できる人材を育成し、社員一人ひとりが部署や年齢に関係なく自由に意見を出し合っていくことによる、全員参加型の経営を目指しています。その結果、お客様の声を生かした製品開発につながるのです。

これからも、あらゆる考えをタイムリーに共有し、皆で同じベクトルを向きながら良い製品を生産・提供していきたいと考えています。



植生土のう グリーンバッグ



ロンケットワラトップシェアのロングセラー商品



最終工程は丁寧に手作業も

極み

業界でトップシェアを誇る 自然素材（ワラ）活用の 緑化資材

製造機械の内製から保守点検まで一貫体制を構築し、特注品にも迅速に対応。自然素材であるワラを主材料とする「ロンケットワラ」は業界でもトップシェアを誇るロングセラー商品だ。その他、他業種や研究機関等との共同研究など、今までにない革新的な製品開発にも挑戦中だ。

取り組み

SDGsプロジェクトを始動 多角的に地域の資源を 生かす

令和11年に向けて国内緑化1億㎡の目標を掲げ、令和4年からSDGsプロジェクトを本格始動。ワラの有効活用など環境配慮型の事業展開に加え、地域の教育支援や障がい者雇用、森林再生活動への協力など、多角的な社会貢献にも取り組んでいる。

今後の展開

国内産種子栽培の強化により 環境保全と雇用創出に貢献

これまで国内産種子に関しては、その自然環境配慮面からも需要が高まっていたが、供給面での課題が大きいとされていた。それに答えるため奈良・熊本を中心に農家、組合等と連携をし国内産種子の栽培、採取、精製を強化しており、地域雇用創出にもつなげている。また、国内産種子の啓蒙活動の面から、各種産業展に出展している。

推しポイント

産業展・技術展等への出展

部署の垣根をこえて
プロジェクトチームを
立ち上げ、社員誰でも
参加できる環境



新製品の開発、国内産種子等に携わる当社のプロジェクトを多方面に紹介するため、積極的に環境、社会資本インフラ関連の展示会・技術展を中心に開催している。官公庁・大学等の研究機関・コンサルタント・他業種・個人事業主等、様々な方々とコミュニケーションをもつ機会が増え、当社社員の見識を広げる一翼を担っている。

写真は、東京ビックサイトで開催されたグリーンインフラ産業展への出展風景。来訪者も多く、ブースは活気であふれていた。